

# 北信新人体育大会 柔道

種 目	期 日	会場・時間	参加資格及び参加制限	試合形式と注意事項	県 大 会	申し込み方法等
柔 道	10月12日(土) 13日(日)	長野運動公園 柔道場  12日(土) 個人試合計量① 8:40~8:55 審判・監督会議 9:00 開会式 9:30 試合開始 10:00 個人試合計量② 団 体試合終了後  13日(日) 個人試合計量③ 8:40~8:55 審判・監督会議 9:00 試合開始 9:30	I. 高体連に登録済みの1、2年生 II. 団体試合 1. 男子団体試合Ⅰ部 (1)1校1チーム、監督1名、選手8名とする。 (2)高体連登録者数が男子3名以上であること。 2. 男子団体試合Ⅱ部 (1)1校1チーム、監督1名、選手4名とする。 (2)高体連登録者数が男子2名以上4名以内であること。 3. 女子団体試合 (1)1校1チーム、監督1名・選手5名とする。 (2)高体連登録者数が女子2名以上であること。 III. 個人試合 1. 各校における各階級の人数制限はなし。 2. 計量に合格した者とする。 3. 男子階級区分 60kg級 (60kg以下) 66kg級 (60kgを超え66kg以下) 73kg級 (66kgを超え73kg以下) 81kg級 (73kgを超え81kg以下) 90kg級 (81kgを超え90kg以下) 100kg級 (90kgを超え100kg以下) 100kg超級 (100kgを超える) 4. 女子階級区分 48kg級 (48kg以下) 52kg級 (48kgを超え52kg以下) 57kg級 (52kgを超え57kg以下) 63kg級 (57kgを超え63kg以下) 70kg級 (63kgを超え70kg以下) 78kg級 (70kgを超え78kg以下) 78kg超級 (78kgを超える) IV. その他 1. 新入生の大会参加について 新入生の大会参加については、事故防止、安全確保について十分に留意し考慮すること。「(特に本年度4月より柔道を始めた生徒)」 2. 脳震盪について 大会前1か月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする(尚且急、専門医「脳神経外科」の精査を受けること)。練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。 3. 皮膚真菌症について 皮膚真菌症(トリコフィトン・トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行う。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、原則として大会への出場を禁止する(ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める)。	I 試合形式 1. 団体試合(大会第1日目) ①男子団体試合Ⅰ部 ・各チーム5名による点取り試合、試合ごと5名のオーダーを提出する。 <b>ただし登録者数が6名未満のチーム同士の対戦においては、大将から後詰めのオーダーとする(北信予選のみ適用)。</b> ②男子団体試合Ⅱ部 ・各チーム3名による点取り試合、試合ごと3名のオーダーを提出、ただし2名でのオーダーは中堅・大将とする。 ③女子団体試合 ・各チーム3名による点取り試合、試合ごと3名のオーダーを提出、ただし2名でのオーダーは中堅・大将とする。 ④その他 ・男女とも全日制・定時制を別けてチームを編成すること。 ・男子団体試合において、Ⅰ部に出場したチームはⅡ部には出場できない。Ⅱ部に出場したチームはⅠ部には出場できない。 ・各種別ともトーナメント戦(敗者復活戦あり)とするが、出場校が6校未満の場合はリーグ戦とする。 ・各校において、団体試合掲示用の学校名とエントリー選手の名札を作成し、封筒に入れて大会第1日目に持参すること。サイズは、学校名はB5縦、名札はB5縦1/2とする。 2. 男女個人試合(大会第2日目) ・トーナメント戦で行う。 ・計量は第1日目・第2日目ともに8:40から8:55及び第1日目団体試合終了後に行うので、いずれかで合格すること。なお計量時の服装は男子「上半身裸」、下は「短パン」、女子「上半身Tシャツ」下は「短パン」とする。 II 競技規則 競技規則は国際柔道連盟試合審判規定(2018~2020)及び平成30年度全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。試合時間は男女団体・個人試合ともすべて4分とする。団体試合における優勢勝ちの判定基準は、「技あり」または「僅差」とする。なお、僅差は「指導差が2」とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。個人試合及び団体試合代表戦における「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差が2」とする。同等の場合は、延長戦をゴールデンスコア方式(時間無制限)で行う。延長戦に入った場合、従来通り「技あり」以上もしくは指導差がでた時点で勝敗を決する。詳細は、大会当日の審判監督会議にて確認する。 III その他 1. 柔道着の背部にゼッケンを縫い付けること。縫い付ける場所は襟から5~10cmのとこにゼッケン上部がくるようにし、強い糸でしっかりと縫い付けること。サイズは横30~35cm・縦25~30cmとする。姓は上側2/3、校名は下側1/3の部分にゴシック体(または楷書)、男子は黒色、女子は濃赤字とする。 2. 各校監督は、全日本柔道連盟通達「コーチの振る舞い」を確認し、これに準ずること。 3. 女子の帯についてR1年度大会より白線なしに統一となる。長野県内大会もこれに準じる。	I. 団体試合 各種別ともオープン参加 II. 個人試合 男女とも各階級8位まで ※個人試合において、8名に満たない地区が出た場合は、他地区より補充する。	I 認知書 1. 男女別の用紙で申し込むこと。 2. 「認知書入力上の注意(柔道)」をよく読んで入力すること。 3. 入力した認知書(エクセルファイル)は、北信高体連事務局への送付と同時に、必ず柔道専門委員 長野俊英高校・竹内琢美先生へ認知書ファイルを添付し、メール送信すること。 メール送信先 n_syuinei.h.s.judo@gmail.com

【北信高等学校顧問各位】 高等学校体育連盟の諸活動に、頭髮の染色・脱色・パーマ等や、装飾のピアス・ネックレス・指輪等はそぐわないものとして、その対象生徒の大会出場を制限します。したがって、各学校におかれましては、専門部の協力を得て指導され、地域社会からも十分な評価と応援が得られる大会となりますよう、ご協力をお願いします。